

DOCSIS CPE コンフィギュレータの共有秘密の トラブルシューティング

内容

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[問題](#)

[説明](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Data-over-Cable Service Interface Specifications (DOCSIS) の顧客宅内機器 (CPE) のコンフィギュレータ共有秘密キーを処理する方法を説明します。

cable shared-secretは、非加入者によるサービスの盗用を減らすために使用できるメカニズムの1つです。これは、ケーブルモデム終端システム(CMTS)とケーブルモデムがオンラインになる前にケーブルモデムに送信されるDOCSISコンフィギュレーションファイルの両方で設定された単一の共有秘密キーを使用して機能します。この機能が設定されていると、ケーブルモデムはキーなしでCMTSへの登録を完了できません。

cable shared-secretを使用したインストール (特に新規インストール) のトラブルシューティングでは、最初に、CMTSに設定されているcable shared-secretがDOCSISコンフィギュレーションファイルに設定されているものと一致するかどうかを目で確認します。

[はじめに](#)

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[前提条件](#)

読者はDOCSISの基本的な知識が必要です。

[使用するコンポーネント](#)

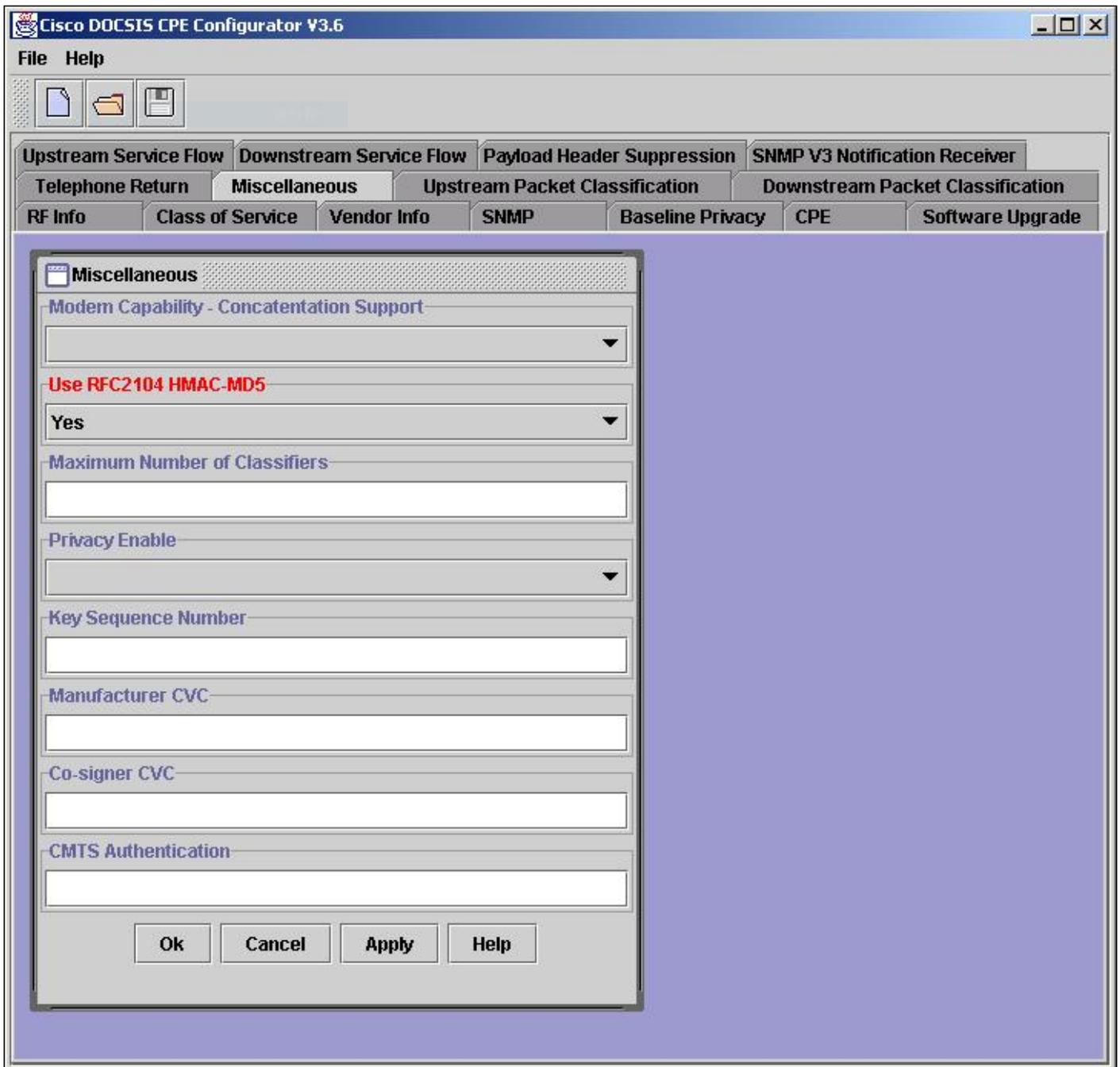
このコマンドは、Cisco IOS®ソフトウェアリリース11.3 XAで初めて導入されました。

問題

CMTSのcable shared-secretを目視で確認するには、次の例に示すように、**show run**コマンドで設定をチェックします。

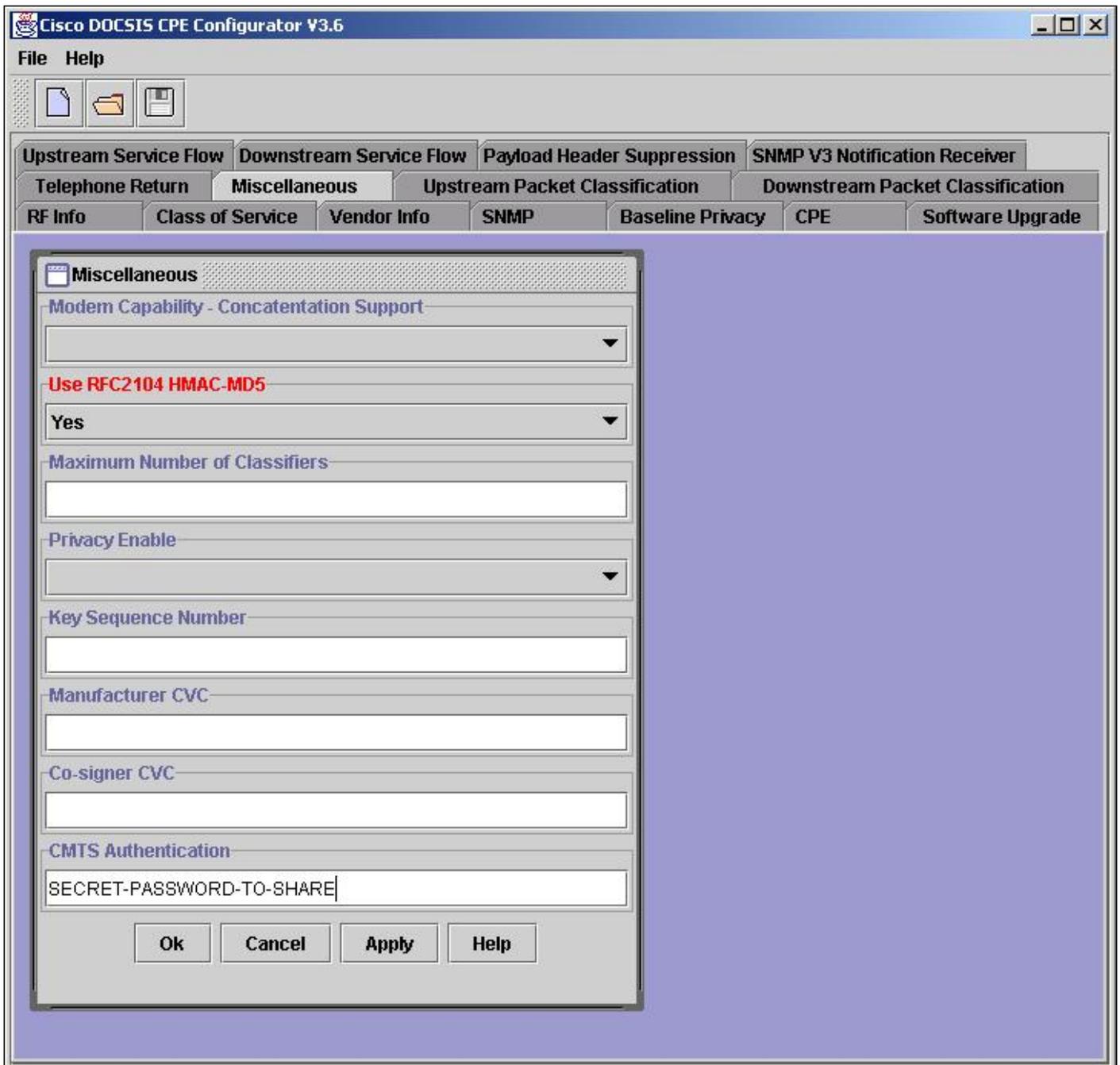
```
Router#show running-config interface Cable3/0
Building configuration...
interface Cable3/0
ip address 10.1.1.1 255.255.255.0
no keepalive
cable shared-secret SECRET-PASSWORD-TO-SHARE
cable map-advance static
cable downstream annex B
cable downstream modulation 64qam
cable downstream interleave-depth 32
cable downstream frequency 583250000
cable upstream 0 frequency 28000000
cable upstream 0 power-level 0
no cable upstream 0 shutdown
cable dhcp-giaddr policy
cable helper-address 192.168.101.3
!
```

ただし、問題のDOCSISコンフィギュレーションファイルを開いて表示するためにCisco DOCSIS CPE Configuratorを使用すると、次の図に示すようにcable shared-secret (コンフィギュレータによるCMTS認証と呼ばれます) が表示されません。



説明

設計上、Cisco DOCSIS CPEコンフィギュレータでは、ファイルを開いたときに（セキュリティ上の目的で）[CMTS認証(CMTS Authentication)]フィールドの値は表示されません。ただし、新しいファイルを作成するか、既存のファイルを更新してCMTS認証機能を含める場合、コンフィギュレータセッションが開いていてアクティブである限り、この値は表示されます。特定のファイルに対するコンフィギュレータセッションが終了すると（コンフィギュレータが閉じられるか、別のファイルが開かれた場合）、CMTS認証値は再度表示されません。



注 : Cisco DOCSIS CPE Configuratorで既存のファイルを上書きする場合は注意してください。CMTS認証値は、既存のファイルを上書きすることによって破損する可能性があります。可能であれば、CMTS認証を既存のファイルに追加し、新しいファイル名で保存します。同じファイル名を再利用する必要がある場合は、更新したファイルを別のファイル名で保存し、コンフィギュレータセッションを終了します (コンフィギュレータを終了するか、新しいファイルを開きます)。コマンドラインインターフェイス(CLI)コマンドを発行するか、GUIツールを使用してファイル名を既存のファイル名に変更できます。DOSでは、**rename**コマンドまたは**copy**コマンドを使用します。UNIXでは、**mv**コマンドを使用します。または、Windowsエクスプローラでファイルを右クリックし、[Rename] を選択します。

関連情報

- [シスコ セキュリティ アドバイザリ:ケーブル モデム終端システム認証バイパス](#)
- [トラブルシューティング : uBR ケーブル モデムがオンラインにならない場合](#)
- [ユニバーサルブロードバンド機能コマンド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。